香童の柊

かど　ひいらぎ

Ｎｏ．２１
壬生町立稲葉小学校 学校便り
平成２９年１２月２２日
文責：校長　　廣田　昌英

どうつながるんだ？

１１月２９日（水）に授業参観を兼ねて実施した感謝の会では、たくさんの皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで児童達は、これまで練習してきた成果を存分に発揮して、感謝の意を表すことができました。ところで、これは前日の朝の、１年生の男の子との会話です。「校長先生、明日は授業参観があって楽しみだよ。」「何が楽しみなの？」「肉が出るんだよ」「・・・・？」私はてっきり、頑張ったご褒美としてこの子の家の晩ご飯は焼き肉なのかな？って思いました。そしたら「給食でおいしい肉が出る日なんだよ！」…..？確かにその日の給食ではおいしい「塩ダレ焼き肉」が出されましたが…..それ、授業参観と全然関係ないじゃん！

きっと男の子の頭の中では、授業参観と肉が同じくらい楽しみだったんでしょうね。ちなみに「１１２９＝いいにく」で、肉の日でした。

自慢したい！

１１月２９日（水）の下野新聞に掲載された写真は、その前日に撮影されたものです。その日は体育館の２階から強い日差しが差し込んでいました。体育館の清掃を担当する児童と町長さんを下野新聞社の方が撮影しましたが、何回撮っても白くぼやけてしまうそうです。新聞社の方が「日差しのせいかなぁ…。」と小声でつぶやいた次の瞬間、３人の５，６年生が猛ダッシュを始めました。居合わせた大人達はビックリです。あわてた教頭先生が「どうしたのー！」と彼らの背中に問いかけると、「カーテンを閉めに２階に登ります！」って答が返ってきました。さすがは稲葉の子ども達。おかげで無事に撮影が終わりました。本校の子ども達の素晴らしさ、これも新聞で紹介して欲しいところです。

ありがとう！

その日の１年生の道徳の授業は、あいさつについてみんなで考えていました。最初の「どんなあいさつがありますか？」には、「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」など、月並みの答が羅列されました。ところが、授業の終末ではその答が「笑顔でのあいさつ」「目と目が合ったあいさつ」「心のこもったあいさつ」に変わっていました。しかも、「笑顔でのあいさつはみんなが嬉しくなる」とか、「心が通じ合う」とか、上級生顔負けの意見まで交わされました。うれしいですね。１年生のみんな、ありがとう！

良いお年を！

冬休みが始まります。子ども達はとても楽しみにしているようです。大晦日はいったい何時頃まで起きているんでしょう？お年玉はいったいいくらくらいもらえるんでしょう？

とは言っても、やっぱり体調を崩したら楽しい冬休みも台無しです。保護者の皆さん、子ども達には健康でいるために努力させてください。くれぐれもぼーっと生活していて風邪を引いた…..なんてことのないよう、よろしくお願いします。そして、お仕事が始まる頃には、早寝早起きなどの生活習慣の御指導もお願いします。始業式で元気な子ども達に会えるのを職員一同楽しみにしております。それでは、良いお年を！